

Ⅱ. 岡山商科大学の沿革と現況

1. 本学の沿革

○沿革

学校法人吉備学園は明治44(1911)年3月産業教育の一翼を担って岡山市南方に吉備商業学校を設立し、昭和23(1948)年4月吉備高等学校（平成6(1994)年4月岡山商科大学附属高等学校と改称）、ついで昭和30(1955)年3月吉備商科短期大学を設立（昭和32(1957)年1月岡山商科短期大学と改称、昭和41(1966)年3月廃止）した。しかしこれに満足せず、産業教育に50有余年の歴史と伝統とを基調として、遠大なる視野の下に世の要望に応え、新たに最高学府である4年制の商科大学の設立を企画、岡山市津島京町に新校舎を建設し、岡山商科大学を開学した（昭和40(1965)年4月）。今日までに19,982人の卒業生を社会に送り現在に至っている。

○年譜

昭和40(1965)年1月25日	文部大臣から岡山商科大学設置認可
昭和40(1965)年4月1日	岡山商科大学商学部商学科（入学定員100人）開学
昭和46(1971)年4月1日	商学部産業経営学科（入学定員100人）増設
昭和47(1972)年3月10日	附属図書館完成
昭和47(1972)年4月1日	附属経営研究所創設
平成3(1991)年4月1日	法経学部法学科（入学定員100人）・経済学科（入学定員100人）増設
平成7(1995)年4月1日	大学院商学研究科商学専攻修士課程（入学定員20人）開設
平成9(1997)年4月1日	商学部国際観光学科（入学定員100人）増設
平成10(1998)年4月1日	大学院法学研究科法学専攻修士課程（入学定員10人）及び経済学研究科経済学専攻修士課程（入学定員10人）開設
平成11(2000)年4月1日	3年次編入学定員制度設置（商学科20人、産業経営学科10人） 附属経営研究所を社会総合研究所に改称
平成15(2003)年4月1日	情報教育センター、会計教育センター設置
平成17(2005)年4月1日	学部学科改編により、商学部商学科（定員300人）・会計学科（定員100人）、法学部法学科（定員120人）、経済学部経済学科（定員120人）の3学部4学科体制となる 地域再生支援センター設置
平成19(2007)年4月1日	商学部商学科にアジアビジネス専攻を設置 産学官連携センター設置 法学教育センター設置

2. 本学の現況

○大学名

岡山商科大学

岡山商科大学

- 所在地
岡山県岡山市津島京町 2 丁目 10 番 1 号
- 学部等の構成
商学部…商学科・会計学科、法学部…法学科、経済学部…経済学科
ただし、商学部産業経営学科・国際観光学科、法経学部法学科・経済学科は、
在学生の卒業をもって廃止する。
大学院 商学研究科・法学研究科・経済学研究科
- 学士課程及び大学院修士課程

平成 19(2007)年 5 月 1 日現在 単位：人

		学生数	教員数	職員数（含む嘱託）
大学院	商学研究科	32	0	49
	法学研究科	16	1	
	経済学研究科	1	0	
学部（学科）	商学部	1,006	42	
	法経学部 （法学科）	323	20	
	法学部			
	法経学部 （経済学科）	314	17	
	経済学部			

※平成 17(2005)年 4 月「法経学部」を分離し「法学部」「経済学部」とした